

社会福祉法人 平野の里

事業報告書

平成27年度

社会福祉法人 平野の里

2016/04/01



目次

平成 27 年度を振り返って.....	3
各事業報告.....	5
障害者支援施設あやめ寮.....	5
共同生活援助 グループホームあやめ.....	6
相談支援事業ひらの.....	7
生活介護 障害者支援施設あやめ寮.....	8
今年度の取り組みと今後の展望.....	8
●個別活動報告.....	10
りさいくるG.....	10
ふぁーむG.....	10
ふぁくとりーG.....	12
すまいるG.....	12
くりーんG.....	13
虐待防止・権利擁護委員会.....	14
防災委員会.....	15
事故・苦情相談委員会.....	16
マニュアル委員会.....	17
散髪係.....	17
医務食事委員会.....	18
医務看護部門.....	18
食事部門.....	19
余暇・行事委員会.....	22
2 大行事に関して.....	24
あやめ協力会.....	26
利用者自治会.....	27
実習生・ボランティア.....	28
短期・日中一時.....	29
保護者会担当.....	30
備品係.....	31
車輛整備.....	32
美化.....	32
広報委員会.....	33
ホームページ.....	33
職場研修.....	36

平成 27 年度 主な研修参加実績.....	37
平成 27 年度職員研修旅行（宿泊研修・日帰り研修）	38
関係機関・団体出向者.....	39
採用活動	40
会社説明会実施後のアンケート結果.....	40

平成 27 年度を振り返って

社会福祉法人 平野の里

あやめ寮施設長 倉持 一雄

社会福祉法人本格的変革の歩み

平成 27 年度は近年諸々の情報で意識されるようになった社会福祉法人の変革が具体的になりました。各省庁や国会に各施設と密着したそれぞれの協会の代表者が繋ぐ会議をした結果と思います。現場説明を数回聞くうちにやっと見えてきた状態です。現場施設は福祉事業を担っているが行政指示のもと実践してきたのですが、計画指示が届いていなかったためトラブル発生となりました。

これからは貴重な税金経営ですから自からの計画遣り繰りを自己責任で行い、きちんと公開して申請事は行政に伺って進めるということが理解できた年度であります。このことは 28 年度、29 年度へと利用者支援を第一に国の指示に従い繋ぎ進めます。

グループホーム弐番館も開設し軌道にのったところでは。地域課と本体との連携ワークに努力しました。

職員も増となりましたが育成はすすんでいます。

地域生活困窮者支援は計 2 回となりました。

平成27年度事業体制

設置運営主体 社会福祉法人 平野の里

事業種別及び定員

①障害者支援施設 あやめ寮 開所年月日 昭和63年3月1日

主なサービスと定員

入所支援 定員50名

生活介護 定員75名

短期入所 定員 2名(併設型)

日中一時支援

②グループホームあやめ

●GH あやめ:定員5名

●あやめ壺番館:定員10名

●あやめ式番館:定員10名

③障害者生活支援センター ひらの

各事業報告

生活介護・施設入所

障害者支援施設あやめ寮

障害者支援施設あやめ寮利用者障害支援区分分布								
区分	6	5	4	3	2	1	重度	計
男性	16名	12名	4名				9名	32名
女性	8名	6名	4名				3名	18名
SS		1名	1名					2名
合計	24名	19名	9名				12名	52名

※生活介護通所利用者 2名

平均年齢 46.71歳 平均支援区分 5.26

あやめ寮は、大所帯となりました生活介護事業も順調に推移し、さらにご利用者の皆様が充実した生活を営むために、生産活動や創作活動・余暇活動において様々な取り組みを進めております。

生活介護定員75名のうち、残りの5名の定員につきましては、地域ニーズを見据えながら準備しているというスタートをさせて頂きましたが、9月頃より本格的にグループホームあやめのご利用者2名が生活介護の支給決定を受けて利用を開始いたしました。1月には在宅利用者2名の通所利用が始まり、定員に対して74名ということで生活介護は推移しております。引き続き、利用に向けて相談支援専門員と連携しながら、地域ニーズに即した利用を進めていきたいと考えております。

また、短期入所に関しましては定員2名の中、春先から夏にかけて1名の定員枠の空きがございまして、スポット的な利用で活用しておりましたが、10月半ばより短期入所として1名入所され、定員の2名の枠は満床の状態となっております。

新たなご利用者支援の課題については、昨日今日始まった課題ではございませんが、ここ最近の生活支援の中で痛感しておる事象「入所ご利用者の高齢化問題」については、ご利用者の平均年齢こそ48歳程度となっておりますが、74歳の最高齢のご利用者をはじめ70代が5名、60代が10名という状況の中、ご利用者個々の生活の中でも体力低下や認知の問題など気になる部分を感じられるようになってきました。特に「知的障害」を持つご利用者の場合、知的障害が起因した問題なのか、認知症の問題なのか非常に判断が難しく、他法人でも同様の状況がございまして。しかし、国が進めるような65歳になったら障害者総合支援法から介護保険制度への移行と言っても、住まいの場・支援の場が変わるといって一筋縄ではいきませんから、私どものような障害者支援施設でも高齢知的障害者に特化した支援と、青年層のご利用者の支援と最低でも2本立てをしていかなければならない状況になってきていると思われまして。相変わらず、通院の数も非常に多く、支援現場とのバランスを取りながら通院を組むようにはしておりますが、体制においても日によっては厳しい状況もございまして。

共同生活援助 グループホームあやめ

グループホーム事業利用者障害支援区分分布								
区分	6	5	4	3	2	1	無	計
GHあやめ			1名	1名	1名		2名	5名
壺番館	3名	3名	4名					10名
式番館	4名	2名	4名					10名
3ホーム計	7名	5名	9名	1名	1名		2名	25名

主な活動実績

- 4月1日 あやめ壺番館3年目あやめ式番館1年目スタート。
毎月円藤内・上高野クリーン活動実施。
- 5月11日 式番館大木さん・半澤さん利用開始。
- 6月17日 矢島さん9年半勤務した流通サービスを退職。
- 7月 上高野夏祭り練り歩き散策。
- 8月 あやめ寮盆踊りに参加。
- 9月より相川さん矢島さん生活介護事業利用開始。
- 9月13日 面会日個別支援計画説明、各ホームにて、式番館は初実施。
- 10月1日～2日と19日～20日と2回にわたり地域部門合同1泊旅行実施。
2回計利用者21名 職員8名参加。
- 11月22日チャリフェスタ地域の方も招待へ。
同日矢島さん帰ホーム中に交通事故にあい17日間入院となる。
- 12月8日 地域部門合同忘年会実施。1月からは相川さん矢島さんも送迎利用開始。
- 2月1日グループホームあやめ10年目スタート。
- 2月下旬～3月上旬3者面談実施。
- 3月8日上高野大蔵地区行政区総会へ参加。

あやめ式番館が無事に2年目を迎えようとしている昨今です。丸9年の中では就労支援、生活拠点の準備、利用者各々のスキルアップ向上などその様子は表情一つとっても手ごたえとして変化を感じさせますし、振る舞いも地域で生活している誇りを感じさせる様子がにじみ出ています。多様な居場所の一つであることに自信と誇りを持たれていることに式番館利用者にも徐々に以心伝心し更なる手ごたえとして捉えているところです。

避難先として式番館では、居宅介護支援事業所ひまわり幸手さんにも快くご承諾いただき、消火訓練の同時開催など連携を深めつつあります。もちろん、課題もあるところですが、1年1年月日を重ねるに従い色々と思いを巡らしつつ対応を経ていくところです。有意義な生活や活動を経てください。うえでも今一度課題と見通しを振り返りグループホーム事業10年目を迎えたいと思います。

相談支援事業ひらの

主な活動

- ・対象地域（久喜市・幸手市・蓮田市・白岡市・宮代町・杉戸町）に住む障害のある方や、その家族のための相談窓口となる
- ・毎月第4木曜日に行われる、埼玉北地区計画調整会議に参加。同じ地区の相談員との意見交換、勉強会等実施
- ・サービス等利用計画書の作成（94名）
- ・社会資源を活用するための支援
- ・権利擁護のための必要な支援
- ・福祉サービスの利用援助
- ・生活困窮者相談支援（彩の国あんしんセーフティネット）

活動実績

- サービス等利用計画書作成件数
 - ・新規作成 55件
 - ・モニタリング 99件
- あんしんセーフティネット支援件数
 - ・4件（低所得家庭1件 失業2件 高齢1件）

課題

- 相談支援専門員の増員
- 相談支援専門員の知識、経験不足
- 新規利用者増員

生活介護 障害者支援施設あやめ寮

●定員 75 名 ●利用実績：71.08 名 ●利用人数：74 名

●作業時間 月～金曜日 9：45～11：45

*12 月から、月～金曜日の午後も作業を行う：13：15～14：45

●作業場所 ブラウン棟・レッド棟・グリーン棟・寮内・野外活動等

●作業月報で下記のことを報告

・作業実績（月々の収支実績・重点利用者の支援課題と支援方法・班内の課題や問題点）

・個別支援に基づいた月間利用者別評価 ・評価工賃表の作成

●作業活動収支

	年度支出合計	年度収入合計	年度収支実績
ふあくとりーG	¥12,307	¥113,165	¥100,858
ふぁーむG	¥90,423	¥227,338	¥136,915
りさいくるG	¥18,462	¥690,622	¥672,160
くりーんG	¥10,742	¥0	¥-10,742
すまいる	¥3,240	¥0	¥-3,240
年度合計	¥135,174	¥1,031,125	¥895,951

●作業工賃（作業収益分配金）

	対象人数	工賃額（年）	平均額
ふあくとりーG	22 名	¥46,150	¥2,097
ふぁーむG	15 名	¥39,505	¥2,633
りさいくるG	17 名	¥42,180	¥2,481
くりーんG	14 名	¥3,8145	¥2,724
すまいる	0 名	¥0	¥0
年度合計		¥165,980	¥1,999

※対象人数は年度途中入退所者の実数も含む述べ人数で換算。

今年度の取り組みと今後の展望

障害者支援施設あやめ寮では日中の生活介護・夜間の施設入所支援の 2 本立ての支援の中でご利用者が生活を営んでおります。その中で、日中の「生活介護」における今後の方向性について、近年、試行錯誤しております。

「生活介護」という言葉だけを捉えると「介護」という言葉の認識から活動的な内容には感じられないかもしれませんが、正確には、障害者支援施設などで、常に介護を必要とする方に対して、主に昼間において、入浴・排せつ・食事等の介護、調理・洗濯・掃除等の家事、生活等に関する相談・助言その他の必要な日常生活上の支援、創作的活動・生産活動の機会の提供のほか、身体機能や生活能力の向上のために必要な援助を行います。

このサービスでは、自立の促進、生活の改善、身体機能の維持向上を目的として通所により様々なサービスを提供し、障害のある方の社会参加と福祉の増進を支援します。」と定義づけられており、非常に広義の内容を含んでおります。

そんな中、あやめ寮は午前からお昼を挟んでおやつ前まで「作業活動」を実施するスタンスで日課が成り立っておりましたが、平成 20 年前後、ちょうど障害者自立支援法が施行されたあたりから在り方について検討がなされ、ご利用者の高齢化も捉えながら、作業時間と余暇活動のバランスを微調整し続けてきました。現在では、平日の午前のみが作業時間となっており、午後は余暇活動という自由時間になって数年間進んできております。

ただ、そんな状況の中、どうしても特に午後の余暇時間に関していうと、余暇活動は日替わりであり参加人数に限りもあり、月平均 4 回ほど（週 1 回）しか余暇活動に参加できていない状況です。その部分が非常に歯がゆく感じており、試行錯誤している状況でしたが、思い切って日中活動を午前からおやつ前までとして、各作業グループで活動（静観活動・創作活動・余暇活動）を運営する「ユニット方式」で支援対象者に空白ができないようにしようと考えております。

ただ、作業時間を増やすということは現在の作業種・量だけでは不足するということも容易に想像がつかしましたので、タイミング同じくして、新規作業の導入を図ることと致しました。新規作業の導入内容は、①有限会社 TK プランニング様の内職（100 円ショップ商品）②杉戸町の障害者支援施設庄内様からの紹介の株式会社エコサポート様の作業（首都圏コープ事業連合が、首都圏コープグループの環境関連事業の推進を目的とした 生協の環境事業会社として設立）、③株式会社エコバンク様（DVD・プラスチック分別）の 3 つの作業を導入します。

現在は 75 名定員をあやめ寮の敷地内の各棟で支援しておりますが、幸手市における障害福祉サービスはまだまだニーズに対して受皿が充実しているとは言えませんので、現在まで培ってきた生活介護の支援ノウハウを活かして、さらに支援対象者が増加しても支えられるような環境や内容を構築していきたいと考えております。グループホームのように生活の場を地域へという制度がございしますが、生活の場だけが地域へという考えではなく、日中活動の場を地域に求めても良いと考えておまして、「活動の場の地域移行」も視野に入れながらアンテナを張って業務遂行していきたいと考えております。

●個別活動報告

りさいくるG

【作業活動】

- ・作業工程： ①回収物選別②アルミ缶潰し（足、手）③プルトップ取り
④ペットボトルリサイクル⑤ロードサポート⑥缶回収

【利用者】・Iさん、Oさん 今年度無断外出がありましたが、すぐに発見し怪我などはありませんでした。

- ・利用者間、利用者と職員のトラブルは、主にAさん、Sさん、Fさん、Oさんの4名でOさんは3度職員に対しての加害行為が見られています。

課題

- ・ロードサポートをPM作業内に組み込む必要がある。
- ・缶の保管量増加・ペース配分を意識して作業提供を行なう。
- ・缶納品の円滑な実施。
- ・施設から出るダンボールをまとめ市の回収日に合わせ所定の位置へ置けるよう配慮。
- ・缶保管用のハウス設置（缶を棟内に保管していることの弊害を考慮して）

ふぁーむG

【作業内容】

●上半期

- ・草取り ・水遣り ・野菜作り
- ・野菜の収穫【ネギ、キュウリ、ほうれん草、春菊、オクラ、ミニトマト、大根、
玉ねぎ、ピーマン・にんにく・じゃが芋、ナス、】
- ・耕し ・マルチ張り ・肥料まき ・きゅうり棒固定 ・苗植え
- ・さつま芋うね作り ・土混ぜ ・きゅうり芽切 ・鎌とぎ ・作業棟清掃
- ・受注作業手伝い

●下半期

- ・さつま芋収穫・ちぢみ菜植え・大根間引き・白菜の紐巻き
- ・野菜の収穫【ネギ、大根、白菜、ちぢみ菜】
- ・草取り・水遣り・野菜作り耕し・マルチ張り
- ・肥料まき・鎌とぎ ・作業棟清掃 ・受注作業手伝い

【活動報告】 季節ごとに作付を工夫して活動を実施しており、イベントでの販売では、チャリフェスタでの野菜販売に重点を置き、あやめ寮で収穫した野菜だけでなく、毎年お世話になっている葛西さんからいただいたものを含めた野菜を販売しています。葛西さんからアドバイスをいただき、ちぢみ菜を育て販売を行いましたが、農薬を使用しない為、虫による被害が出ました。ただ、育てやすく多量生産出来るため、来年度も取り入れたい野菜だと感じました。

1月～3月にかけては取り組める畑作業も少なく、草取りを中心に行なっています。玉ねぎとじゃがいもを植え、来年度に収穫予定となっています。雨の日は受注作業の手伝いを中心に活動しています。

【上半期参加イベント】・ホットハートフェスティバル【6/12】

【下半期参加イベント】・チャリフェスでの野菜販売【11/22】・面会日での野菜販売

課題

- ・野菜の販売方法の幅をもっと広げて、収益に繋げていきたい。
- ・ふぁーむ作業メンバーだけでの畑の管理は難しい為、作業メンバー以外の職員にも畑の様子を知っていただき、誰が畑作業に入っても、どの時期にどういった作業を行うか把握出来るよう、情報提供の工夫が必要。

平成 27 年 公園等作業実施報告書（外部作業）

場所：春日部市とよはる台サンハイツ

月/日	参加人数	回数	作業内容
4月	3名	1回	花壇の草取り。肥料まき。
5月	3名	1回	プランター回収。花壇の草取り。花の移植。肥料まき。
6月	6名	2回	花壇にマリーゴールド、プランターにペチュニア納品。
7月	6名	2回	花壇の草取り。プランター一部回収。
8月	3名	1回	花壇草取り。
9月	3名	1回	花壇草取り。肥料まき。
10月	6名	3回	花壇草取り。肥料まき。葉牡丹植え
11月	6名	1回	花壇整理。プランター
12月	5名	1回	花壇整理。プランター
1月	3名	1回	花壇の草取り。肥料まき。
2月	3名	1回	花壇の草取り。肥料まき。
3月	3名	1回	花壇の草取り。肥料まき。

平成 27 年 公園等作業（外部作業）の様子



ふあくとりーG

- 作業内容：差し込み・もぎり・DVD・ウエス・チラシ入れ・ハンダ
- 実施状況
 - ・差し込み作業（国分プレス工業㈱より月に1度、作業が提供され行う）
 - ・もぎり、DVD、ウエス（納品を効率よく行うことで、作業が途切れることはなし）
 - ・チラシ入れ（利用者ができる作業がある時だけ、業者から提供）
 - ・ハンダ 年度後半に、社会福祉法人杉風会よりご紹介を頂き、エコサポートと取引を開始した為短期間ではあるが、実績として12月下旬から2月中旬まで作業を行う。）
 - ・個々の特性・能力に応じた作業の提供
 - ・作業棟内の環境衛生面への配慮
 - ・毎月、作業工賃を利用者に提供

課題

- ・金子化成の作業に関して、環境への配慮を徹底し衛生面に注意して行う。
- ・DVDの納品を効率よく行い、作業の提供量を安定させる。
- ・ウエス作業後、グリーン棟内の掃除・洗浄の徹底。
- ・（有）ティーケイブランニングの作業に関して、先方とこまめにやり取りを行いコンスタントに作業を提供してもらう。
- ・ハンダ作業に関して、DVD納品同様納品を効率よく行い作業の提供量を安定させる。

すまいるG

【主な活動内容】

月曜日：リハビリ

（フットマッサージ、歩行練習、平行棒、ロデオボーイ、ペダル漕ぎ、他）

火曜日：音楽活動（音楽鑑賞、合唱、合奏）

水曜日：創作活動

（カレンダー作成、裁縫、文字書き、折り紙、貼り絵、ぬり絵、絵画）

木曜日：音楽活動

金曜日：スヌーズレン 他、NHK体操・日光浴・散歩

【利用者個別：14名】個別活動の提供

【活動実績】

- 廊下に掲示する昨年4月～今年3月までのカレンダー作成。
- リハビリやマッサージを行い、身体機能の低下を防ぐとともに、残存能力の維持・向上を図っている。
- 外出の機会が少ないため、日光浴を実施し、室外の空気、大気に触れる時間を提供している。

- 音楽活動を通して聴覚からの刺激を取り入れている。
- 創作活動など、リハビリ以外の趣味的活動を取り入れている。
- スヌーズレンやアロマを取り入れることでリラックス効果を図っている。

課題

- スヌーズレンの新規備品により環境整備の維持管理
- リハビリ運動など、専門知識に基づいた支援
- プログラムを詳細にし、作業内容のルーティン化
- 個々の特性に特化した支援

くりーんG

【主な活動内容】

- 本棟の清掃活動、洗濯仕分けを実施。職員体制に余裕がある際には、重点的に支援が必要な利用者さんへのフォローやマンツーマン対応を行い、各々のスキルアップに取り組んでいる。また、細かいところや普段掃除していないところまで掃除を実施。

【利用者個別：14名】個別活動の提供

【活動実績】

- 前述活動内容通り。また、リネン室の整理、備品の確認（必要に応じて備品係と連携）

課題

- 洗濯物の量が多い場合（特に冬季）に、どのように作業を展開していくか。
- 各作業の質の向上。
- 自身の役割分担が早めに終了した利用者さんへの対応・作業提供。
- 来年度は午後も作業になるため、全体的な作業の流れと各利用者さんの作業内容に関して、随時検討・変更して行く必要がある。また新しい作業が追加される利用者さんに対しては、適宜職員がフォローして行く。

虐待防止・権利擁護委員会

●今年度の委員会の取り組みについて

- ・ガイドラインの見直し
- ・利用者個別の特性や支援時の配慮点の資料の作成
- ・虐待防止研修への参加
- ・虐待防止研修へ参加した委員会メンバーから、職員会議で研修報告を実施。
- ・定期的な接遇目標の検討、更新

●月ごとの取り組み

4月：今年度の委員会での取り組みについて検討

5月：前月の続き・施設内研修の方向性の検討

6月：7月からの接遇目標の検討

- ・ガイドラインの見直し・外部の虐待防止研修会に参加。

7月：外部虐待防止研修に参加しての研修報告・ガイドラインの見直し

8月：ガイドラインの見直しにより、全体的に修正をしていく方向で検討。

9月：10月からの接遇目標の検討

- ・発達障害者協会の利用者部会（虐待防止）に参加
- ・ガイドラインを利用者の特性と配慮点という形に変更し、その表紙に当たる部分の検討。

10月：利用者の特性・配慮点をグループで作成をした表紙に当たる部分の摺合せを実施。

11月：利用者の特性・配慮点をグループで作成をした表紙に当たる部分の摺合せを実施。

12月：1月からの接遇目標の検討・

- グループで作成をした個別の記載に当たる部分の摺合せを実施。

1月：利用者特性・配慮点をグループで作成をした個別の記載に当たる部分の摺合せを実施。

2月：利用者特性と配慮点をグループで作成をした個別の記載に当たる部分の摺合せを実施。

3月：4月からの接遇目標の検討・次年度の取り組みについて・作成した利用者特性と配慮点を業務マニュアルに追記。

課題

- 個別に今の利用者の支援を振り返り、虐待やグレーゾーンに当たっていないのか確認していく話しを実施していきたい。
- 虐待防止権利擁護における、施設内研修の企画検討と実施。

防災委員会

主な活動実績

- 委員会の開催
- 避難誘導のマニュアルの修正
- 施設内各所の点検
- 非常備蓄品の点検、補充等
- 避難訓練の実施（下表参照）
- 避難誘導のマニュアルの修正を実施。
- 施設内の落下物の確認やコンセントの埃取りなど、各所の点検
- 非常備蓄品の使用期限の確認、購入、補充
- 水害、積雪対策等、施設で想定される災害について対応検討。
- 幸手市防災安全課へ訪問し、担当者と避難場所の確認・福祉避難所について情報交換
- 避難訓練の実施

避難訓練実施内容

日時	内容	出火想定場所	参加者
6月19日 13:30～15:00	当日雨天のため、職員のみ避難誘導の動きを確認する。新人、二年目の職員を対象。	リネン室	職員10名
8月5日 13:30～15:00	消防署員立会いの元、避難訓練・通報訓練・消火訓練。二年目の職員を対象。20:00のお茶提供時の火災を想定し、職員3名で誘導を実施。	リネン室	職員19名 利用者55名
10月19日 13:30～15:00	消防署員立会いの元、非難訓練・通報訓練・消火訓練。経験年数のある職員で実施し、自力で避難できない利用者の新しい避難誘導方法を試みる。21:00以降の火災を想定し、職員2名で誘導を実施。	リネン室	職員15名 利用者49名

課題

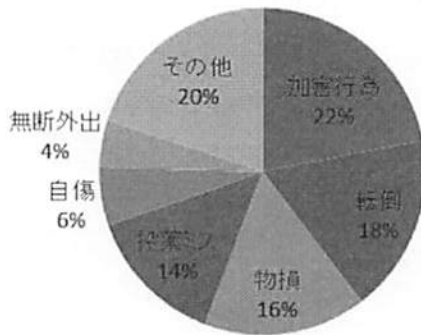
- 新棟非常食の変更
- 避難誘導マニュアルの見直し
- 非常備蓄品の検討
- 避難訓練の内容の検討

事故・苦情相談委員会

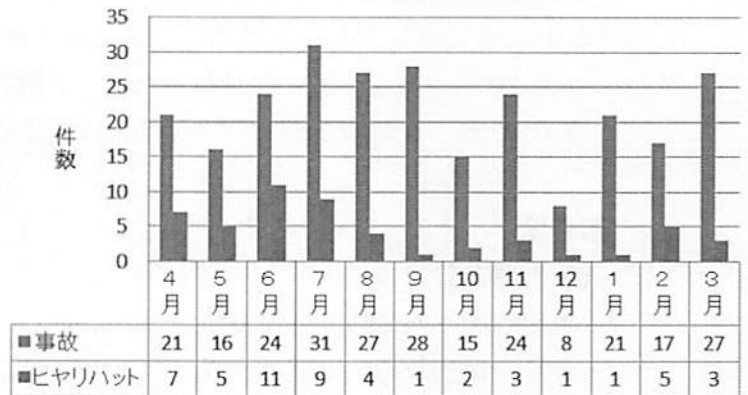
●今年度の傾向分析

各月の事故発生件数とその内訳は図の通り。事故に関しては加害行為、転倒に続き物損が多く挙げた。前年度と比較すると加害行為が16%増加し、内訳の2割を占めている。また、その他には車両事故や原因不明の痣や怪我なども含まれている。ヒヤリハットに関しては薬のセットミスが多く挙げた。苦情相談については書面で10件ほど報告されており、いずれも管理者が回答を行なっている。

事故内訳



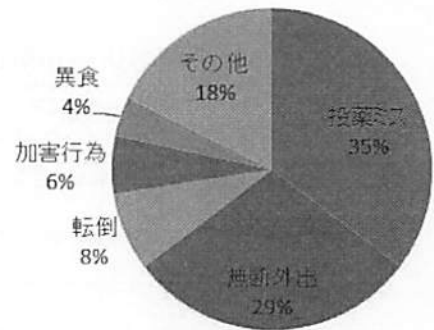
事故・ヒヤリハット報告書月別件数



活動実績

- 委員会の月1回の開催。
- 月毎の事故・ヒヤリハット報告書の検証と発信
- ケース記録に残された苦情相談の確認と改善
- 帰省要望書の修正と要望内容の確認と発信
- 月毎の事故・ヒヤリハット報告書のまとめと周知
- 危険予知訓練(KYT)実施。
- 感染症対策用の備品の設置(公用車11月～3月)。

ヒヤリハット内訳



課題

- 報告書の検証と環境改善。
- ヒヤリハット報告に対する意識改革と定着。
- 苦情相談に関する方向性の確立。

マニュアル委員会

- ・ マニュアル会議開催・マニュアルについて協議
- 4月24日 年間計画
- 6月12日 定期帰省以外の帰省の引継ぎ方法・利用者会計等作成他
- 7月10日 SS受け入れ・帰省時の対応・日中活動・午後の時間について他
- 8月31日 利用者特性と支援・救急搬送の対応見直し・危機管理他
- 9月24日 無断外出・マニュアルの更新・修正
- 10月23日 新棟掃除に関して・作業開始時間他
- 11月30日 外部からの苦情に関する対応・アンケート結果対応他
- 12月22日 インフルエンザ対応・ノロウイルス対応・感染症に関する対応他
- 1月29日 マニュアルの更新・見直し・新型インフルエンザ発生対応他
- 2月23日 次年度に向けた業務変更に関する協議

散髪係

【散髪取組】

- ・各理容店への連絡・日程調節。
- ・各月の散髪計画・実施の作成。
- ・利用者の整髪状況を確認し、必要に応じて散髪計画に盛り込んでいく。
- ・各利用者の利用月、理容店の固定化の調整・更新。

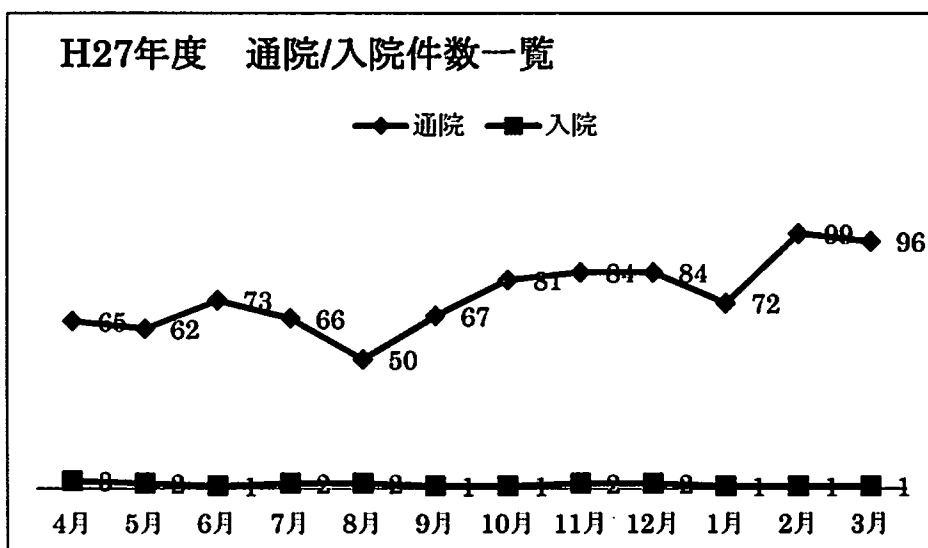
平成27年度各理容店別利用延べ人数

月	鈴木理容店		スノップ		落合理容店		合計
	男	女	男	女	男	女	
4	14				2	5	21
5			6		2	5	13
6	15		4		4	10	33
7	5		7		4	9	25
8	13				3	4	20
9	7		7		4	8	26
10	12		5		2	6	25
11	7		0		5	9	21
12	17		6		1	5	29
1	6		6		5	9	26
2	6		6		1	6	19
3	15		5		6	8	34
合計	117		52		39	84	292

医務食事委員会

医務看護部門

- ・ 医務会議の運営
- ・ 山内Dr 往診対応
- ・ Dr 報告書の確認と送信
- ・ 健康診断準備と運営（4月・10月）
- ・ 歯科検診準備と運営（9月）
- ・ 既往歴の更新
- ・ 緊急搬送時のマニュアル作成
- ・ 加湿器の設置と片付け



	通院	入院
4月	65	3
5月	62	2
6月	73	1
7月	66	2
8月	50	2
9月	67	1
10月	81	1
11月	84	2
12月	84	2
1月	72	1
2月	99	1
3月	96	1
合計	899	11

《入院状況詳細》

入院者名	入院期間	病院名	入院疾病内容
Aさん	4/9～4/21	秋谷病院	蜂窩織炎の前兆
Bさん	4/13～5/16	東鷲宮病院	心房細動による頻脈発作
Cさん	4/30～ 没	秋谷病院	腸閉塞の疑い
Dさん	5/1～5/14	東埼玉病院	肺炎
Eさん	6/30～7/15	東埼玉病院	水中毒のため救急搬送
Fさん	7/28～8/3	朝霞台病院	てんかん発作軽減手術のため
Gさん	8/14～8/26	済生会栗橋病院	膀胱の腫瘍切除手術のため
Dさん	9/15～9/30	東埼玉病院	肺炎や尿路感染の疑いが
Aさん	10/31～12/8	秋谷病院	蜂窩織炎
Hさん	11/22～12/8	秋谷病院	交通事故
Iさん	1/27～3/10	秋谷病院	肺炎の疑いが強いため

食事部門

- ・ 食事会議の運営
- ・ 検食簿の一覧作成と確認
- ・ 食堂の掲示物作成
- ・ 食堂座席の名札の定期的な貼り替え
- ・ 嗜好調査の配布
- ・ 栄養ケアの実施（別紙資料 参照）
- ・ 行事食や選択メニューの実施（別紙資料 参照）
- ・ 食堂内の掲示物の回収→厨房内にてファイリングして保管

課題

・ 27年度は業務分担が係り内で行えておらず、育成をすることができませんでした。28年度は、担当になった職員全員で取り組むことで、業務の分担と理解を深められたらと考えています。

栄養ケアマネジメントについて

定義…ヘルスケアサービスの一環として、個々人に最適な栄養ケアを行い、その実務遂行上の機能や方法手順を効率的に行うための体制である

栄養ケアマネジメントの流れ

- ①栄養スクリーニング 低栄養のリスクが高い人を洗い出す
BMI、体重変化率、血清アルブミン値、食事摂取量、褥瘡の有無、栄養補給法
- ②栄養アセスメント 栄養状態を評価する
 - ・ 身体計測（BMI、体重変化率、アルブミン値、必要に応じて血圧や貧血などの指標）
 - ・ 食生活状況（摂取状況、食事の量や形態、アレルギー、嗜好）
 - ・ 課題（盗食、偏食、食べこぼし、嚥下障害 等）
- ③栄養ケア計画書を作成 栄養補給（食事量、食事の形態など）栄養教育・栄養相談
多職種による栄養ケアなど（口腔ケア、摂食リハビリ、運動など）
- ④実施・チェック
- ⑤モニタリング 栄養状態の再評価を、栄養状態のリスクに応じた期間で行う
低リスク者…3ヶ月 中リスク者…2週間～3ヶ月 高リスク者…2週間
- ⑥評価（再栄養スクリーニング） 栄養状態のリスクに関わらず3ヶ月ごとに行う

栄養ケアマネジメントの実施状況

体重測定結果や毎食の摂取状況などをもとに会議を行い、各利用者に合わせた食事内容にしている。

例 体重が減少傾向：食事の量を増やすなど

肥満傾向：食事の量を減らす、低カロリーのものへ代替など

糖尿病：医師に指示されたカロリーでの提供

血中の脂質量が多い：油分控えめで提供

摂取能力低下：食事形態の変更（粥食、刻み食、ペースト食など）、自助食器やスプーンの使用を検討、食事介助など

嗜好やアレルギーによって食べられないもの：代替食を提供

行事食

実施日	行事	メニュー
27/4/1	お花見	焼きそば、唐揚げ、卵焼き、フライドポテト、コーンスロー、バナナ
27/4/24	誕生日メニュー	ロールパン、コンソメスープ、ハンバーグ&エビフライ、スパゲティサラダ、コーヒーゼリー おやつ：チョコパンケーキ
27/5/5	こどもの日	オムライス、スープ、豆のサラダ、フルーツヨーグルト
27/5/29	誕生日メニュー	ハンバーガー、オニオンリング、たこウインナー、ブロッコリーのミルクスープ、野菜サラダ、ぶどうゼリー おやつ：カップ入りケーキ
27/6/22	誕生日メニュー	スタミナそば、ミニおにぎり（ひじき梅）、揚げ出し豆腐、野菜サラダ、あじさいゼリー おやつ：抹茶&あずきパバロア
27/7/7	七夕	七夕そうめん、野菜かき揚げ、里芋のそぼろ煮、すいか おやつ：ゼリー
27/7/24	土用の丑	うな井、すまし汁、きんぴらごぼう、きゅうりのドレッシング和え
27/7/30	誕生日メニュー	チャーハン、ワンタンスープ、エビチリ、餃子、バンバンジーサラダ、マンゴープリン おやつ：、チョコムースケーキ
27/8/16	盆踊り	焼きそば、たこやき、フランクフルト、焼き鳥、唐揚げポテト、かき氷、ジュース
27/8/20	誕生日メニュー	ソースカツ丼、みそけんちん汁、ごま豆腐、カラフルマカロニサラダ、ぶどうゼリー おやつ：チョコカスタードケーキ
27/9/24	誕生日メニュー	サンドイッチ（カツ、ハムレタス）きのこのミルクスープ、かぼちゃサラダ、ほうれん草のソテー、フルーツ おやつ：チョコケーキ
27/10/29	誕生日メニュー	オムライス、スープ、エビフライ、ポテトサラダ、コーヒーゼリー おやつ：フルーツケーキ

27/11/12	誕生日メニュー	チャーシュー入りチャーハン、中華スープ、三色しゅうまい、サラダ、杏仁豆腐 おやつ：フルーツケーキ
27/12/21	誕生日メニュー	五穀ごはん、けんちん汁、とんかつ、ポテトサラダ、浅漬け、ゼリー おやつ：チョコバナナケーキ
27/12/24	クリスマス	エビピラフ、コーンスープ、鶏から揚げ、シーザーサラダ、デザート
27/12/31	大晦日	年越しそば（かき揚げ）
28/1/1	元旦	お雑煮 おせち（かまぼこ、黒豆、伊達巻、栗きんとん、お浸し）
28/1/28	誕生日メニュー	サンドイッチ、スープ、エビフライ、コロッケ、ポテトサラダ、ナゲット、ゼリー おやつ：ショートケーキ（いちご&チョコソース添え）
28/2/3	節分	巻き寿司、かき揚げそば、かぼちゃの煮物、みかん おやつ：節分豆
28/2/25	誕生日メニュー	天井（えび、ちくわ、なす、かぼちゃ、しそ）、すまし汁、錦糸しゅうまい、浅漬け、コーヒーゼリー おやつ：ココアケーキ（いちご添え）
28/3/3	ひなまつり	ちらし寿司、すまし汁、しゅうまい、タケノコの土佐煮、フルーツ
28/3/24	誕生日メニュー	ミートソーススパゲティ、スープ、コロッケロールサンド、アスパラサラダ、イチゴババロア おやつ：ロールケーキ

セレクトメニュー

実施日	メニュー	
27/11/30	A：かきあげそば B：かきあげうどん	ブロッコリーの胡麻マヨサラダ、きゅうりとわかめの酢の物
28/1/25	A：和風きのこハンバーグ B：洋風きのこハンバーグ	ご飯、味噌汁、ごぼうサラダ、漬物
28/2/29	A：親子丼 B：中華丼	味噌汁、マカロニサラダ、ほうれんそうのごま和え
28/3/28	A：カレーライス B：ハヤシライス	野菜スープ、海藻サラダ、フルーツヨーグルト

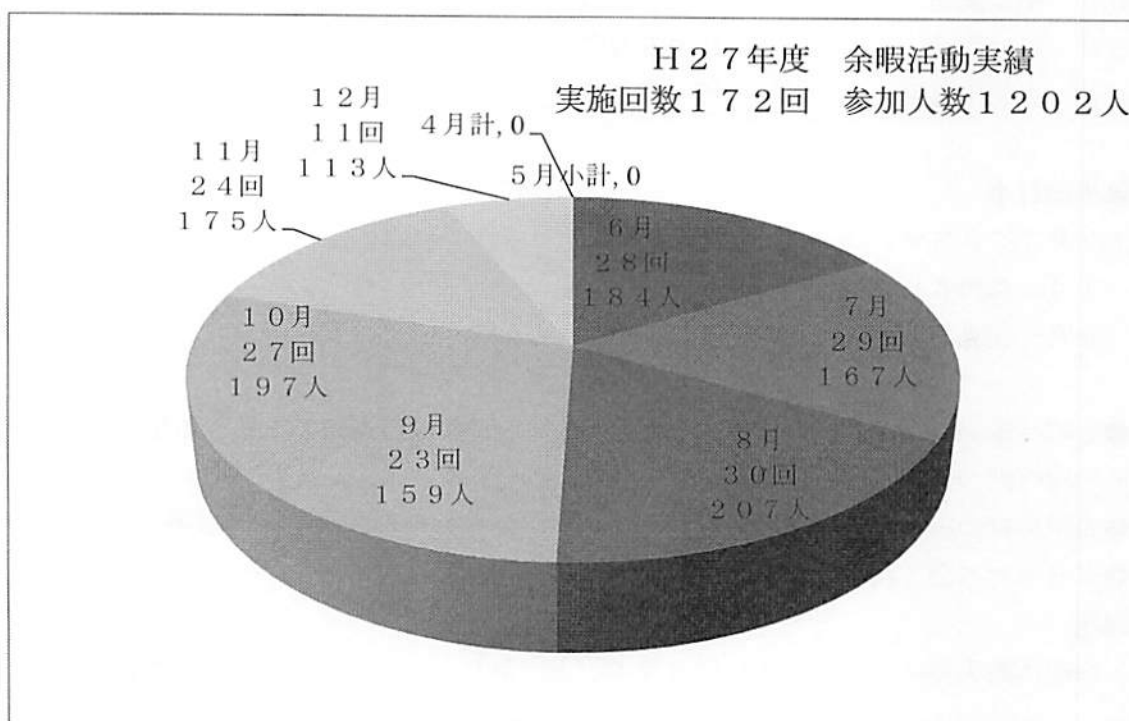
余暇・行事委員会

●余暇活動…外出・外食・他施設・地域イベント参加・施設内余暇の計画・実施。

年間172回実施 参加人数1,202人

- ・6月…28回 参加人数184人
- ・7月…29回 参加人数167人
- ・8月…30回 参加人数207人
- ・9月…23回 参加人数159人
- ・10月…27回 参加人数197人
- ・11月…24回 参加人数175人
- ・12月…11回 参加人数113人

*4月・5月は、体制や方法検討における期間、1月・2月・3月は風邪の流行期の為未実施となる。



●主な内容

外出系：ドライブに行こう・喫茶店に行こう・バスドライブ・ボウリングに行こう・温泉に行こう・道の駅に行こう・花のステージに行こう・権現堂のあじさい祭りに行こう・ゲームセンターに行こう・本を買いに行こう・市内のお祭りに行こう・バッティングセンターに行こう・GH 見学に行こう・久喜けいわ祭り・庄内祭り・こしがや希望の里・行田園祭り・コーヒーを飲みに行こう・巡礼桜・さくら歌謡クラブ・アグリパーク散歩・権現堂散歩・幸手健康福祉祭り・川越にじの家ふれあい祭り・小沢道路イルミネーション

調理食べ物系：お好み焼きを作ろう・かき氷を作ろう・フルーツパフェを作ろう・ホットケーキを作ろう・カップラーメンを作ろう・カステラを作ろう・ピザを作ろう・冷たい麺類を食べよう・スイカ割りをしよう・クリームソーダを作ろう・ノンアルコールカクテルを作ろう・パン食い競争をしよう

工作施設内系：ネイルアートをしよう・文字を勉強しよう・折り紙をしよう・ダンスをしよう・らくやきマーカーでお皿作り・キーホルダーを作ろう・紙粘土を使って遊ぼう・バルー・チャリフェスタ反省会

●希望旅行

4月	東京ディズニーランド	利用者7名
5月	伊香保温泉	利用者7名
6月	横浜観光	利用者8名
6月	野球観戦	利用者5名
7月	鬼怒川温泉	利用者9名

●季節行事

- 12月：クリスマス会
- 1月：利用者新年会
- 4月：花見

●余暇活動実施（4月・5月は、体制や方法検討における期間、1月・2月・3月は風邪の流行期の為未実施となる。）

●希望旅行の実施（箱根方面の計画は、活火山の噴火の影響にて、伊香保方面へ変更）

●クリスマス会、利用者新年会、H28年度の花見開催。

課題

- ・余暇活動実施について、次年度日課の改正があり、どのように組み込んでいくか。

2 大行事に関して

あやめ寮の2大行事に関しまして、平成27年8月16日に盆踊り大会が開催され、平成27年11月22日にあやめチャリフェスタが開催されました。両イベント共にたくさんの来場者がお越しになり、地域の方々をはじめ、近隣の障害福祉サービス事業所からも多く関係者の方がお見えになりました。

盆踊り大会に関しましては、恒例の灼熱の中の「やぐら建てや提灯付け」の会場設営におきまして、当日以外のボランティアとしては初めてとなる野川様（春日部在住）にもご協力いただくなどしまして、しっかりと会場設営が出来上がり、当日も天候に恵まれ、爽やかな風が吹き抜ける過ごしやすい空の下で、盛大に開催することができました。

あやめチャリフェスタに関しましては、大変多くの障害福祉サービス事業所がご参加いただき、当法人を含め7法人（社会福祉法人杉風会 庄内・社会福祉法人啓和会 久喜けいわ・社会福祉法人平徳会 こしがや希望の里・社会福祉法人聖徳会 行田園・特定非営利活動法人 あかり あかりワークス国納・特定非営利活動法人 ららら笑会）が、販売や施設対抗のど自慢大会にご参加いただきました。晴天とはいきませんでした。オープン前の11時より前から多くの来場者が詰めかけ、準備も比較的順調に進んだということもあり、30分前倒しで屋外イベントをオープンさせ、大変盛況の状況が続く、600食限定で振る舞われた「とん汁」と「焼きそば」はお昼を前にして終了するほどの来場者がいらっしやいました。ホールでの芸能イベントも力強い和太鼓演奏や、優雅なフラダンス、パワフルな阿波踊り、大盛り上がりの施設対抗のど自慢大会など、満席立ち見状態の中非常に充実した状況で進み、あやめ寮利用者の出し物も例年以上の出来栄のAYAME48の索敵なダンスや一丸となったステージで多くの方々から「感動した」「すごく良かった」とお褒めの言葉を頂きました。

チャリフェスタに際しましては、当初エンジンのかかり具合が遅いのではと心配される声もありましたが、担当職員をはじめ本当によいチームワークでまとめ上げ、イベント数日前にはかなりよい動きで準備を進め、昨年の反省点を十分に活かした視点から当日までよくまとめ上げることができたと感じております。まだまだ改善の余地もございりますが、同業他法人の方々からも「大変刺激を受けた」「色々教えて欲しい」「これからも是非参加したい」「こんなにすごいイベントをよくまとめている」とうれしいお言葉を頂くことができました。ホームページにも即日、「支援員ブログ」等で紹介しておりますが、あやめチャリフェスタ vol. 7の収支は、収入合計 ￥593,002

支出 ￥90,500 収益 ￥502,502という過去最高の金額となり、おそらく来場者に関しても過去最高を記録したと思われます。こちらの収益は、今後、あやめ協力会にて使途が検討されていくこととなります。今回の経験を活かし、さらに職員一丸となって、ご利用者の支援並びに施設の発展に寄与できるように頑張っております。

●盆踊り大会：平成27年8月16日（土） 16:30～19:30

・模擬店（焼きそば、フランク、焼き鳥、かき氷、から揚げポテト、ジュース）の実施。
焼きそば600食、他500食用意。

・演者ボランティアとして幸手市和太鼓保存会様、沢明日香様、大城麻衣様、幸手市商工会フラダンス様、幸手さくら連様。

・ボランティアとして個人ボラ5名、学生ボラ5名（埼玉保育教育学院、川口短期大学、越谷保育専門学校）

収支報告：収入…343,500円 支出…428,133円

●あやめチャリフェスタ：平成27年11月30日（日） 11:00～15:30

・北公民館の駐車場にて模擬店（焼きそば、豚汁）、野菜、バザー品の販売。

他施設交流として、久喜けいわ様、あかりワークス様、サークルのぞみ様の招待。

・ボランティアとして、

個人ボラ5名、学生ボラ5名（埼玉保育教育学院、東京未来大学、十文字女子大学）

●活動実績

今年度も、盆踊りとあやめチャリフェスタの2つの行事を実施しました。

盆踊りは例年通りのスケジュールで計画をし、行事担当も昨年度からのメンバーが数名残り、準備に関してスムーズに進められたと感じています。当日は、天気は何とか曇りで雨に降られず、予定通り進行しました。模擬店の内容に関しては、昨年度と同様な内容ではありますが、焼きそばは100食増やし、600食用意しています。

あやめチャリフェスタも、昨年度の形式と同様に行ない、委員会としては館外での催し（模擬店販売、食事スペース作り、駐車場係）を執り行っています。館内のみならず、公民館の外にて、和太鼓・阿波踊りの披露も実施。お祭りの雰囲気を感じられました。今年度も、公民館のそばを通りかかった方やさくらファーム（農産物直売所）に買い物に来た方々が寄っていただいたようで、集客という点では効果があったように思います。

あやめチャリフェスタでは、昨年度の課題でもあった、会場準備（特に芋煮運び～振る舞い）においては、前日準備として午後から北公民館の借用ができたと言うことで、早い段階から準備に取り掛かることができました。芋煮運びも、完成後、9時台から運び始めたことで、余裕を持って進められました。

課題

・双方、ボランティアの受け入れ人数を増やしていきたい。

・盆踊り大会にて、駐車場借用の際は、駐車場係りを配備し、事故等がないように誘導・把握に努める。来客用として、東分署跡地・水道課。職員駐車場としてJA幸手東店を借用しています。

あやめ協力会

27年度のあやめ協力会は地域交流・地域参加をスローガンに活動に取り組んでまいりました。内容としましては5月17日（日）にあやめ協力会会員への平成26年度活動報告と27年度の活動計画の伺い、また当法人への叱咤・激励を目的に「第11回あやめ協力会総会」を実施しました。総会では衆議院議員や県会議員にもご参加いただき、活発な意見交換の場となりました。

この協力会総会で承認・依頼を受け、11月22日（日）に「第7回あやめチャリフェスタ」を開催いたしました。今年度はいつもの地域活動団体※和太鼓保存会 フラダンスチーム等の発表、さらに他施設とのカラオケ歌合戦を行いました。各利用者のいきいきした表情がとても印象的でした。

また、年間を通しての活動として「協力会員の募集活動」を行いました。今後、更に地域へ当法人をアピールして、あやめ協力会の活動がより良いものになるようになればと考えております。

主な活動

- 第11回あやめ協力会総会の実施。
- 第7回あやめチャリフェスタの開催。
- あやめ協力会会員の募集活動。
- 会報あやめの定期送付。

課題

- 第11回あやめ協力会総会・・・事前に会計及び会計監査との連携不足が見られたので、次回は事前に連携を図り、スムーズな進行を心がける。
- 第7回あやめチャリフェスタ・・・更なる地域交流を目指し、催し物、チャリティーバザーの内容の検討が必要と思われる。
- あやめ協力会員の募集活動・・・会員の減少が否めない状態なので、会員の特典の検討ならびに会員募集のチラシの作成を試みる。

利用者自治会

地域貢献から社会貢献をテーマに、「わたしたちにできること」はどのようなことなのか、利用者が主体で物事を考えるきっかけの場の提供をする。また、生活するにおいてやってみたいこと・困っていること・悩み相談等、職員がサポートをしながら共に解決に向けて意見交換を行なう。

施設内で生活をしている利用者からの意見・訴え・要望を基に、施設内の環境整備(トイレ内の衛生管理やカーテンの洗濯等)・支援工夫(対人関係における悩みや相談等)の意見交換の場として展開。その他、利用者一人一人が自身で意見を発表できるよう、職員主体ではなく利用者が主体となって活動に取り組めるよう、男女計8名を選抜し自治会役員という役割を設けている。また、地域グループホームで生活されている方も、本棟にて地域での生活について意見を述べていただく。また、季節ごとの行事に触れ他者との関わりを深めていけるよう、利用者の意見を取り入れた施設行事の展開も行う。

月	主な取り組み内容
4月	障害者支援施設 どうかん施設見学“みんなの会”見学
5月	利用者役員紹介、自治会とは、あやめ寮のルールに関して
6月	熱中症に関して、地震への対応 DVD鑑賞
7月	盆踊り大会の練習
8月	チャリフェス練習
9月	カラオケ大会、チャリフェス練習
10月	虐待防止研修、ハロウィンイベント
11月	チャリフェス練習
12月	1年を振り返って
1月	新年の抱負(画用紙に貼り付け)
2月	1年を振り返って(パワーポイント)、節分絵本読み聞かせ
3月	利用者役員反省会、会議(自治会職員のみ参加)
※その他：施設生活で困っていること、利用者さんからの意見への返答、行事周知等。	

実習生・ボランティア

- 27年度の受け入れ（オリエンテーション・実習・評価）
- 28年度の受け入れ調整
- 人材確保に向けた昼食会

《27年度受け入れ》

- ・詳細は活動実績を参照。
- ・オリエンテーションは複数の学校を同時に実施。年間5回。

《28年度受け入れ調整》

- ・指導できる職員が限られているため、同期間に2名までの受け入れ調整。
- ・現時点で6月や11月、12月に空きがあるため、依頼があれば受け入れる予定。

《昼食会》

- ・主任や係長に依頼して実施。
- ・今年度の採用人数0名。
- ・※実習生が閲覧するご利用者の写真を更新。

学校名	人数	学校名	人数
埼玉保育教育学園	7	帝京平成大学	2
国際学院埼玉短期大学	2	川口短期大学	2
貞静学院短期大学	2	越谷保育専門学校	2
東京福祉大学	2	大宮こども専門学校	2
武蔵野短期大学	2	東京教育専門学校	2
東京未来大学	2	草苑保育専門学校	1
※年間 12校 28名 延べ194日間			

短期・日中一時

●今年度は、新職員・パート職員が加わった体制で委員会を実施しています。新職員・パート職員へは、役割を明確化しながら進めていきました。

●普段の短期入所・日中一時の受け入れに関しては、変更なく行っております。今年度は、新規利用をされる方が複数名おりましたが、一時的な利用者の方が多かったです。一時的な利用の大半は、支援を中心に行っているご家族が入院となり、支援者が居ないという状況でした。その他、新規利用の方の利用希望では、行く行くは施設入所を考えている・施設に慣れてもらうために利用をしたいという内容でした。

●平成24年から日中一時を利用されていた方が、平成27年度より他害行為がエスカレートすることがあり、福祉課への報告・家族との協議の基、受け入れをお断りしている。

●今年度は、支援センター以外にも、地域の相談専門員からも見学や受け入れの希望連絡が来ている。また、適時情報交換などを行ない、利用者の現状や状態の把握に努めている。

主な活動実績

- 日中一時・短期入所利用者の受け入れ調整
- 利用希望者の相談・見学・契約対応
- 特別支援学校の生徒の実習受け入れ
- 個別支援計画書の作成
- 利用時の課題解決への取り組み

平成27年度 日中一時 短期入所 収入・事業報告（日中一時）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	半期計
利用人数	18	14	19	20	19	20	110
利用回数(回)	46	25	48	61	74	58	312
利用者負担金計(円)	46,472	20,364	42,191	52,177	55,879	46,388	263,471
市町村負担額(円)	192,148	83,926	183,851	224,031	259,581	209,712	1,153,249
合計	238,620	104,290	226,042	276,208	315,460	256,100	1,416,720
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	半期計
利用人数	22	19	20	20	15	19	115
利用回数(回)	61	47	80	59	20	50	317
利用者負担金計(円)	44,773	34,801	43,174	44,217	15,957	40,903	223,825
市町村負担額(円)	202,157	173,809	211,236	189,183	73,903	184,407	1,034,695
合計	246,930	208,610	254,410	233,400	89,860	225,310	1,258,520
						①合計	2,675,240

平成 27 年度 日中一時 短期入所 収入・事業報告 (短期)

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	半期計
利用人数	8	7	17	16	13	14	75
利用日数(回)	50	18	61	49	56	73	307
利用者負担金計(円)	49,970	19,290	58,949	49,042	60,194	102,133	339,578
市町村負担額(円)	669,106	425,377	686,623	643,263	711,506	800,813	3,936,688
	719,076	444,667	745,572	692,305	771,700	902,946	4,276,266
	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	半期計
利用人数	12	8	13	11	9	11	64
利用日数(回)	41	33	47	46	22	45	234
利用者負担金計(円)	38,544	32,130	47,278	53,248	19,840	45,740	236,780
市町村負担額(円)	660,033	721,452	878,027	847,663	633,324	860,795	4,601,294
	698,577	753,582	925,305	900,911	653,164	906,535	4,838,074
	②合計					9,114,340	
	①+②収入総額 ￥11,789,580						

保護者会担当

- 毎月の行事や誕生日会の写真を掲載したあやめだよりを毎月作成しました。
- 毎月の面会日にて、面会家族への質疑応答・利用者の近況報告を行ないました。
- 盆踊り・チャリフェスタ・三者面談の時期は、面会日を行なわないが、送付物は作成し家族へお渡ししている。
- 毎月の面会では、【大掃除】【集金】などイベント的なことがある月と無い月では、面会に来る来寮家族人数に差が出ていました。

27 年度面会日来寮家族数

月	人数	月	人数
4 月	24 名	10 月	22 名
5 月	28 名保護者会総会/協力会	11 月	チャリフェスタ
6 月	26 名保護者費集金	12 月	24 名
7 月	27 名	1 月	17 名
8 月	盆踊り大会	2 月	16 名
9 月	33 名 モニタリング	3 月	三者面談

備品係

●通常業務として

*本棟・新棟・職員・事務用品の備品発注→経費削減意識で業務遂行

*備品補充・必要備品の備蓄・備品の在庫管理

*定期的に倉庫整理を実施

●コスト削減の取り組みとして*フィッティンググローブを以前のものより2円安価な物に変えている。

*職員の使う備品類は、在庫数を確認して、必要最低限を購入している。

*備品購入にあたり、各業者と値段交渉を行った。

平成27年度 備品収支報告

月	金額	月	金額
4月	¥89765	10月	¥74078
5月	¥72667	11月	¥95973
6月	¥58785	12月	¥94931
7月	¥123639	1月	¥78910
8月	¥97497	2月	¥31258
9月	¥8177	3月	¥87850
上半期累計	¥450530	下半期累計	¥463000
年間累計		¥913530	

課題

●来年度も、コスト削減に重点をおいて効果的な対応策を講じる努力を行います。

*現在使用している備品の値段を見直し、各業者と値段の交渉などにあたる。

*定期的に備品にかかっている料金を職員に周知し、コスト削減の意識向上を図る。

*洗剤や紙類などの消耗品が、適切な用量・用法を守って使用されているのかを定期的に確認する。

*職員や利用者から寄せられた備品に関する意見を取り入れる。

車輛整備

平成27年度の車輛系の事業活動としまして、まず、職員の車輛の設備点検・清掃・安全の意識を高めるため活動に取り組みました。

〈活動内容〉

- 各車輛に車輛責任者を配置し、月に一回の車輛の点検・清掃の実施。
※利用者にきれいな車輛での利用提供を心掛けてました。
- 月に一回の運行簿のチェック
- 季節による車輛装備品のチェック
※冬季にスタットレスタイヤの着用、インフルエンザ感染症予防のための医療品
※マスクや消毒セットの準備など。
- 各車輛の駐車場所の設定。
- 各車輛の車検日の一覧表を作成・・・車輛責任者の設備に関する意識の向上を図りました

課題

●残念ながら今年度も車輛に関する事故（物損・車輛の傷等）の発生がしばしば見受けられました。今後、この車輛に関する事故軽減・車輛に関する基礎知識の向上を図る為、運転・車輛に関する啓発活動の実施等は必要と思われれます。

美化

- 施設内・外の清掃、整理整頓、修繕等を実施。
 - ・定期的な除草剤散布の実施。
 - ・毛虫の殺虫剤散布の実施。
 - ・施設内害虫駆除の実施。（年2回：本棟・新棟共）
 - ・施設回り植木の剪定の実施。
 - ・施設内年末大掃除。
 - ・乾燥機の煙突の定期的な掃除
 - ・粗大ゴミ等のゴミ出し対応。
 - ・壁紙、水漏れ等、対応可能な範囲での修繕
 - ・業者対応が必要な修繕の連絡、現場との調整。

広報委員会

●年3回の会報誌を発行。(6月、10月、2月)

●発行に伴い会報会議の実施。(年9回)(4、5、6、8、9、10、12、1、2月)

主な配布先:あやめで受け入れている実習生の出身校(就職先の検討材料として見てもらう為に)特別支援学校(卒業後の進路検討材料としてとして見てもらう為に)

他、備品購入先業者、あやめ協力会会員、ご寄付等頂いたところ、ボランティアさん等。

●会報誌の内容に変化。

6月と10月発行の会報誌に、保護者からの原稿を掲載した。他の保護者よりご意見をいただいたところ、好評だった。

●会報誌の発行月の変更。

年3回のバランス、また内容が古くならないように発行月を変更した。

6月、11月、2月→6月、10月、2月

ホームページ

ホームページに関しては、情報発信として「支援員ブログ」を中心に、できる限り身近な情報を更新し、事業所の取り組みを紹介している。現在では、リクルーターへの後方ツールとしての機能がメインとなりつつあるが、他法人からも注視していただいております。相乗効果として取り組みを公開することで、振り返りや確認にも活用できている。以降に、アクセス数の数値を示すデータを添付しているが、非常にアクセス数が向上してきており、今後も親しみのもてる情報発信を心掛けていきたい。

ホームページアクセスランキング(ページ回数100回以上/日)

日付	訪問者	ページ表示回数	ページ表示回数 / 訪問者
2016年3月22日	28	109	3.89
2016年3月20日	15	103	6.86
2016年3月10日	33	132	4
2016年3月9日	37	253	6.83
2016年3月7日	39	112	2.87
2016年3月5日	27	132	4.88
2016年3月4日	35	129	3.68
2016年2月29日	28	116	4.14
2016年2月26日	31	105	3.38
2016年2月24日	32	123	3.84
2016年2月11日	28	104	3.71
2016年2月9日	29	132	4.55
2016年1月30日	25	102	4.08
2016年1月10日	24	124	5.16
2015年12月29日	16	114	7.12

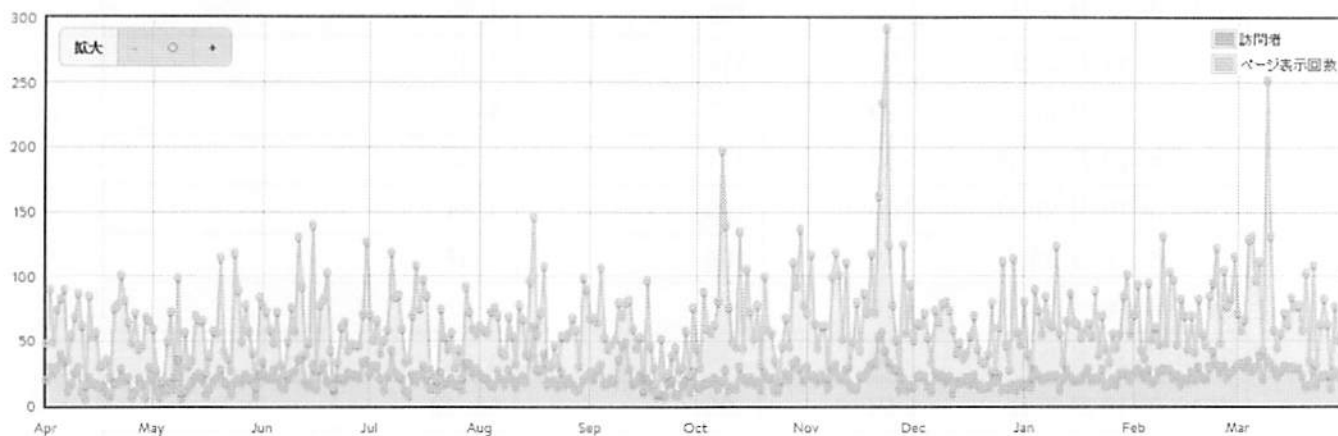
2015年12月26日	13	112	8.61
2015年11月28日	21	125	5.95
2015年11月24日	33	125	3.78
2015年11月23日	42	293	6.97
2015年11月22日	57	235	4.12
2015年11月21日	53	163	3.07
2015年11月19日	32	118	3.68
2015年11月12日	28	111	3.96
2015年11月10日	23	102	4.43
2015年11月9日	32	119	3.71
2015年11月8日	28	100	3.57
2015年11月2日	23	117	5.08
2015年10月30日	29	137	4.72
2015年10月28日	33	111	3.36
2015年10月20日	26	100	3.84
2015年10月15日	19	106	5.57
2015年10月13日	30	135	4.5
2015年10月9日	28	140	5
2015年10月8日	19	198	10.42
2015年9月4日	32	107	3.34
2015年8月19日	40	108	2.7
2015年8月16日	61	146	2.39
2015年7月14日	19	109	5.73
2015年7月7日	43	119	2.76
2015年6月30日	35	127	3.62
2015年6月19日	20	103	5.15
2015年6月15日	32	140	4.37
2015年6月11日	36	131	3.63
2015年5月24日	18	118	6.55
2015年5月20日	28	115	4.1
2015年4月22日	29	101	3.48

ページアクセス詳細

ページ	ページ表示回数
/	5790
/あやめ日記-支援員ブログ/	3978

/あやめ寮について/	1717
/アクセス/	821
/採用情報/	766
/スタッフの声/	624
/フォトギャラリー/	571
/情報公開/	557
/法人理念/	536

平成27年度アクセス状況



職場研修

「法人内研修」としては、3ヶ月～4ヶ月ごとに研修を開催しております。今年度は階層別の「ビジネスマナー」を春に、「メンタルヘルス」を秋にそれぞれ実施し、職場環境の醸成や職員間連携などに少しでも活かさればと期待を寄せております。また、恒例となっております「心理勉強会」として東武丸山病院の臨床心理士の野本氏のご講義を定期的に計画し、実際のケースを題材にして支援の糸口やヒントが共有できればと考え実施しております。大きな法人内研修はこのような形で旬の内容を計画するようにしております。

また、新任研修会は入職時、数か月経過時期と適宜開催しておりますが、こちらは対象人数が時期により様々ですので、対象人数に応じて企画を工夫しております。こちらは主に課長・係長・主任を中心に企画・運営しております。

これらに加えて、職員研修旅行ということで他法人の見学・研修会参加を兼ねて、職員の親睦を意図した旅行を6人から7人グループで毎年実施しております。宿泊が難しいパート支援員に関しては、近隣事業所見学とランチを兼ねた日帰り研修を企画しております。

現在はこのような形で研修会を企画実施しておりますが、今後の計画や検討事項として、中堅職員層へのアプローチ、底上げにももう少しケアしていくことでさらに支援力が高まってくるのではないかと考えております。どうしても、「知っている」「できる」と見てしまう中堅層ですが、切磋琢磨する機会を共有できればひと味違うのではと期待しております。

また、各所で「連携」「繋がり」というキーワードをよく耳にしますが、私ども障害福祉サービス事業所においても、このキーワードが非常によく使われております。他法人との合同施設内研修会などを実践されている法人も埼玉県内にはいくつか事例がございます。この形態にも注目しており、埼玉県発達障害福祉協会の部会や委員会などで知り合った他法人とも、お祭りへの行き来や、庄内様のような施設内研修への参加など様々な交流を深めながらお付き合いさせていただいている中で、具体的に「杉戸町：障害者支援施設庄内」「越谷市：こしがや希望の里」「行田市：行田園」の3法人の上長とお話をしながら、3法人合同の施設内研修会を平成28年度以降に立ち上げられればと下話を進めておるところです。他施設の交流による刺激は、お互い大きな作用になると考え、双方にメリットがでるような交換研修なども実現すると、さらに法人内育成プログラムが骨太プログラムとなり、職員の成長や育成につながるのではないかと期待しております。

平成 27 年度 主な研修参加実績

研修名	時期	主催	参加者
新任職員研修	4 月	あやめ寮	新入職員
ベテランのビジネスマナー		社会福祉法人平野の里	中堅職員以上
新規採用職員ビジネスマナー		(インソース)	新任職員
どうかん自治会見学		あやめ寮	中島・横田・井手
チームリーダーキャリアパス研修	5 月	埼玉県社会福祉協議会	小松・桑原
中堅職員キャリアパス研修		埼玉県社会福祉協議会	瀬谷・田村
中堅職員研修		あやめ寮 (インソース)	中堅職員以上
心理勉強会 (東武丸山：野本氏)	6 月	あやめ寮	全職員
サービス管理責任者Ⅱ		埼玉県	濱野
初任者キャリアパス研修		埼玉県社会福祉協議会	照沼・早川・岩本
新任職員研修		埼玉県発達障害福祉協会	照沼・早川・岩本
プチパワーアップセミナー埼玉		プチパワーアップセミナー埼玉 実行委員会	杉村
経営協 青年部会宿泊研修		埼玉県社会福祉法人 経営者協議会	浅川
庄内 虐待防止研修会		社会福祉法人杉風会	桑原・柿沼麻
全国知的障害福祉関係施設長等会議		日本知的障害者福祉協会	倉持・大澤
摂食嚥下リハビリテーション初級研修		埼玉県リハビリテーションセンター	柿沼麻
新任職員研修	7 月	あやめ寮	中途採用者
BCP 研修		埼玉県社会福祉協議会	浅川
青年部会県外宿泊研修 (千葉：佑啓会)		埼玉県発達障害福祉協会	杉村・小松
発達障害に関する研修	8 月	埼玉県社会福祉協議会	石田
新任職員研修		あやめ寮	新入職員
GH 全国大会			浅川
福祉サービス苦情解決セミナー		埼玉県社会福祉協議会	岩崎
サービス管理責任者研修Ⅰ	9 月	埼玉県	乾
GH 県障害者虐待防止研修会		埼玉県	関根誠・鈴木佳・横田
知的障害者の特性と支援(庄内)		社会福祉法人杉風会	岩崎・井筒・植竹・清水
地域交流会 (白岡中央総合病院)		白岡中央総合病院	杉村
サービス管理責任者共通講義		埼玉県	濱野・桑原
利用者部会 (虐待防止利用者向研修会)		埼玉県発達障害福祉協会	桑原・横田・井手・杉村
福祉職員のためのプレゼンテーション		埼玉県社会福祉協議会	山中
国民ナンバー制度	10 月		木村

中途新入職員研修		あやめ寮	新入職員
介護記録の書き方研修	11月	埼玉県社会福祉協議会	宮野
メンタルヘルス研修		社会福祉法人平野の里 (インソース)	階層別全職員対象
新任フォローアップ(社協)		埼玉県社会福祉協議会	横田
世話人研修		埼玉県発達障害福祉協会	阿部・西岡
関東地区知的障害関係種別代表者会議		埼玉県発達障害福祉協会	柿沼隆・杉村・小松
サービス管理責任者研修 生活介護	12月	埼玉県	桑原・濱野
サービス管理責任者研修(地域知的精神)		埼玉県	乾
高齢知的障害者の支援について(庄内)		社会福祉法人杉風会	杉村・濱野・小松・桑原
埼玉県虐待防止研修会共通講義		埼玉県	桑原・岩崎・井筒・鈴木佳
レクリエーション		埼玉県社会福祉協議会	佐伯
社協新任フォローアップ	1月	埼玉県社会福祉協議会	石田
虐待防止研修Aコース		埼玉県	桑原・岩崎・井筒・鈴木佳
強度行動障害支援者養成研修基礎		埼玉県	杉村・田村・柿沼麻・小松・岩崎
施設長幹部職員研修		埼玉県発達障害福祉協会	倉持施設長・杉村・小松
地域交流会(白岡中央総合病院)		白岡中央総合病院	杉村・桑原
埼玉葛北自立協サビ管フォローアップ研修		埼玉葛北自立支援協議会	浅川・杉村・中島
サービス管理責任者フォローアップ研修	2月	埼玉県発達障害福祉協会	中島・杉村
ホーム世話人研修会		埼玉県発達障害福祉協会	荻野・関根記・浅川
新任職員フォローアップ研修		あやめ寮	新入職員
強度行動障害支援者養成研修実践	3月	埼玉県	杉村・岩崎
心理勉強会(東武丸山:野本氏)		あやめ寮	全職員対象

平成27年度職員研修旅行(宿泊研修・日帰り研修)

研修種別	時期	研修先
職員研修旅行(茨城県東海村)	9月	社会福祉法人愛信会 幸の実園
職員研修旅行(秩父市)	10月	社会福祉法人清心会 さやかグループ
職員研修旅行(坂戸市)	11月	再出発を支えられる地域づくりを目指して ～地域生活定着支援センターの取り組みから学ぶ～
職員研修旅行(さいたま市)	11月	社会福祉法人邑元会 しびらき
職員研修旅行(横浜・震災展)	2月	震災技術展
職員研修旅行日帰り①(宇都宮市)	1月	社会福祉法人晃丘会
職員研修日帰り②	3月	NPO法人あかり あかりワークス国納
職員研修日帰り③	3月	宮代町社会福祉協議会 福祉作業所ひまわり

関係機関・団体出向者

関係機関・部会等	機関名	主な参加者
青年部会	埼玉県社会福祉法人経営者協議会	柿沼隆
施設生活支援部会	埼玉県発達障害福祉協会	杉村・小松・桑原
地域生活支援部会		浅川
相談支援部会		濱村
青年部会		杉村・小松
利用者支援委員会		杉村
サービス管理責任者フォローアップ研修検討委員会		杉村
関東地区知的障害関係施設種別代表者会議実行委員会		杉村・小松
埼玉北ケアマネ部会		埼玉北自立支援協議会

採用活動

現在、平野の里として「リクナビ」を活用した新卒採用活動を継続的に取り組んでおり、リクナビシステムのなかで、「インターンシップ」「会社説明会」「体験実習」「面接」というプロセスを活用しながら、学生に対して職場の魅力や仕事内容を紹介している。昨今、福祉現場では人材不足が叫ばれているが、事業者として学生にしっかりとアプローチができていくのかという自問自答を繰り返しながら、あらゆる手段を活用して採用活動に取り組んでいる中で、リクナビの仕組みを活用しながら、私たち職員も魅力を発信する経験を積む機会として、非常に良い経験を積みながら採用活動が展開できている。

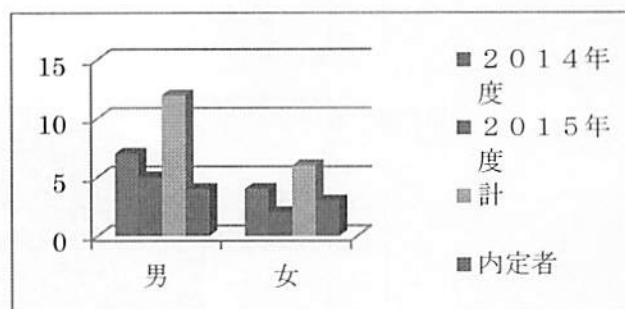
以降に示すデータは、会社説明会を実施した際に毎回協力いただいているアンケート結果を集計したものである。サンプル数は決して多いとは言えず、また、昨年度の数値も含めながら傾向を紹介することとしたが、学生には説明会や職場体験を通じて、福祉現場の魅力を伝える良い機会となっていることはデータからも読み取れる。

採用活動は「種まき」をしなければ何も始まらないという考えのもと、採用から入職、職員育成というトータル的な人材育成を組織として構築していく必要があり、この部分を重要課題と捉え、数年先を見据えた取り組みを展開していきたい。

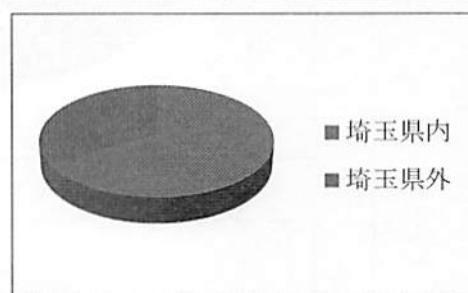
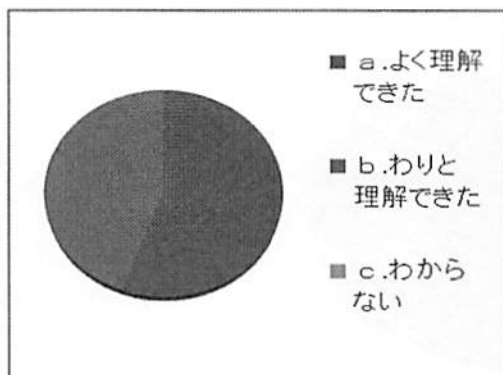
会社説明会実施後のアンケート結果

説明会 参加者状況 (名)

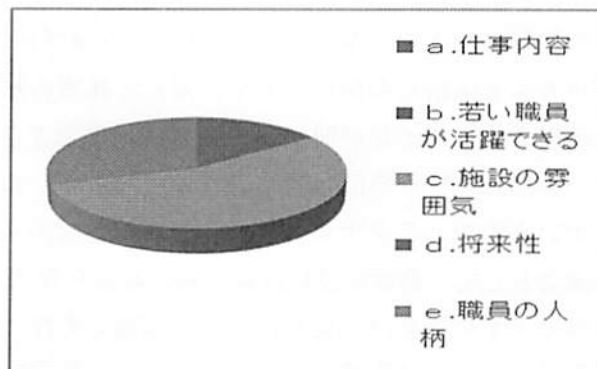
埼玉県内	12	
埼玉県外	6	
	男	女
2014年度	7	4
2015年度	5	2
計	12	6
内定者	4	3



1.当法人についてどの程度ご理解いただけましたか？

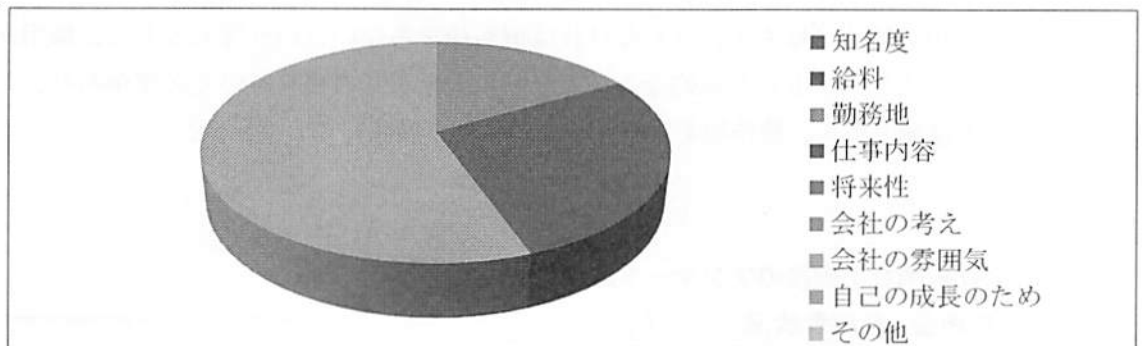


2.一番魅力を感じたのは何ですか？

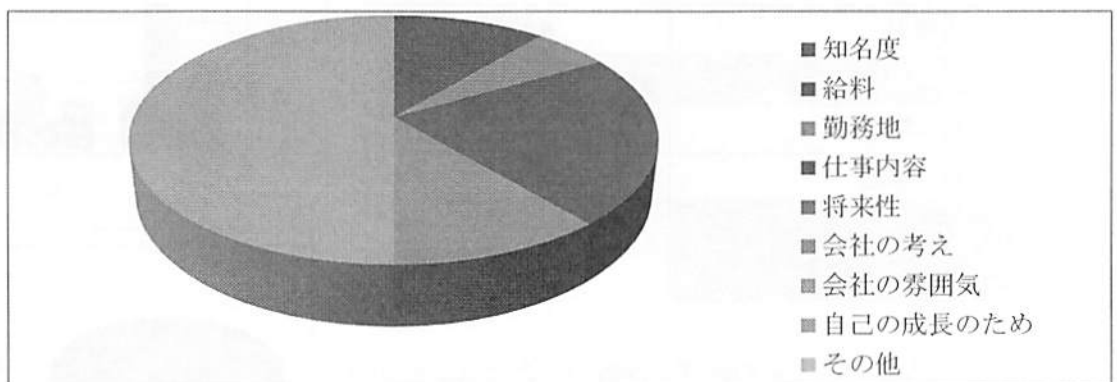


3.就職するにあたり、重要視する上位3番目までの順位を（ ）に書いてください。

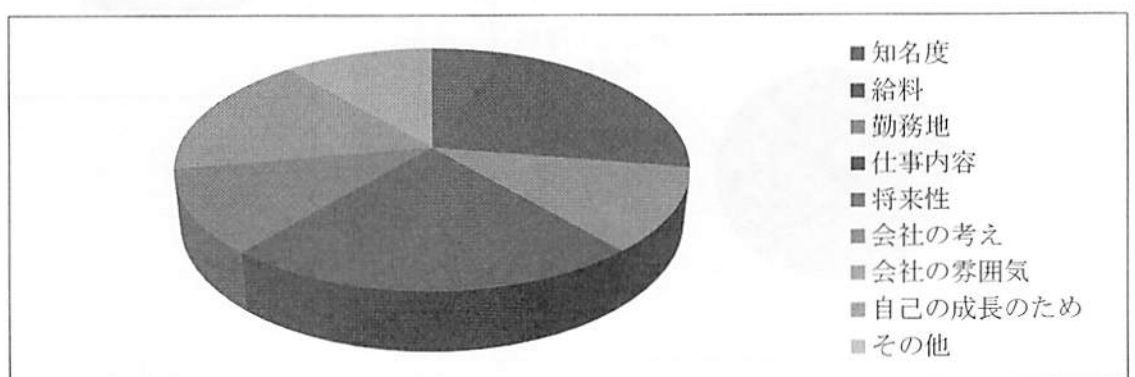
第一位



第二位



第三位



4, 法人説明会の参加前と後で当法人への興味（志望度）はどうなりましたか？

